

# HCL Unica 12.1 サポートされる環境

推奨されるソフトウェア環境および最小システム要件



## 著作権

HCL Technologies Ltd  
2020 年 6 月

ライセンス対象マテリアル - HCL Technologies Ltd. の所有物です。

© Copyright HCL Technologies Ltd. 2020. 不許複製・禁無断転載。

詳細については、製品ライセンスを参照してください。米国政府の限定権利。HCL Technologies Ltd. と契約している GSA ADP Schedule によって使用、複製、または公開が制限されています。Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、Oracle やその関連会社の商標または登録商標です。HCL、HCL ロゴおよびTivoli は、世界の多くの国で登録された HCL Technologies の商標です。

## 目次

概要	3
環境の計画	4
製品の依存関係	4
インストールとセットアップ	4
サポートするインフラストラクチャー・バンドル	4
サポートされているロケール	5
最小システム要件	6
サポートされる環境	7
ソフトウェア・サポート・マトリックス	7
HCL Unica Director でサポートされるオペレーティング・システムおよびデータベース:	8
HCL Unica Journey でサポートされるオペレーティング・システムおよびデータベース:	8
クライアント Web ブラウザーのサポート	12
Adobe Acrobat のサポート	13
ディレクトリー・サーバーのサポート	13
認証プロバイダーのサポート	14
メッセージ・キューのサポート	14
レポート・サーバーのサポート	14
仮想化ソフトウェアのサポート	15
新しくサポートされるソフトウェアのバージョン	17
廃止されたサポート・ソフトウェアのバージョン	17

## 概要

この資料では、以前のリリースで「IBM Marketing Software」と呼ばれた以下のすべての HCL Unica 製品に推奨されるソフトウェア環境と最小システム要件をリストします。

- Unica Marketing Platform
- Unica Campaign (以前はContact Optimization と呼ばれた Unica Optimize を含む)
- Unica Interact
- Unica Plan (旧称 Marketing Operations)
- Unica Centralized Offer Management
- Unica Director
- Unica Journey
- Unica Deliver

## 環境の計画

このセクションでは、ソフトウェアとハードウェアの前提条件の概要と、HCL Unica 製品のデプロイに必要な一般的な環境に関する考慮事項について説明します。

## 製品の依存関係

HCL Unica スイート内のいくつかの製品では、他の製品を前提条件としてインストールする必要があります。追加情報については、製品固有のインストール・ガイドを参照してください。

インストールされている製品	必要なコンパニオン・インストール	
	Unica Marketing Platform	Unica Campaign
この製品をインストールする場合...	...同じ行の ✓ がマークされた製品もインストールする必要があります。	
Unica Campaign (Optimize を含む)	✓	
Unica Interact	✓	✓
Unica Plan	✓	
Unica Marketing Platform		
Unica Centralized Offer 管理	✓	✓
Unica Journey	✓	
Unica Deliver	✓	✓

## インストールとセットアップ

- UNIX コマンド・ラインに接続し、HCL Unica インストーラーまたはユーティリティの実行に使用する端末クライアント、SSH、または telnet クライアントは、UTF-8 文字エンコードに設定する必要があります。他の文字エンコードを使用すると、情報が欠落したり、正しく表示されない場合があります。詳しくは、「12.1 インストール・ガイド」を参照してください。

## サポートするインフラストラクチャー・バンドル

HCL Unica には、以下のサポートするインフラストラクチャーと、選択製品の購入がバンドルされています。

- BIRT 4.6.0 は、以下の製品にバンドルされています。
  - Unica Marketing Platform

その他のすべてのサード・パーティー・ソフトウェアおよびドライバーは、HCL Unica 製品では提供されません。別途購入してインストールする必要があります。

## サポートされているロケール

ロケール	Unica Marketing Platform (a)	Unica Campaign (Optimize を含む)	Unica Interact	Unica Plan	Unica Centralized Offer 管理	Unica Journey	Unica Deliver
英語	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
フランス語 (フランス)	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
ドイツ語 (ドイツ)	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
日本語	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
韓国語	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
ブラジル・ポルトガル語	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
スペイン語 (スペイン)	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
中国語 (簡体字)	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
中国語(繁体)	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
イタリア語	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
ロシア語	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y

## メモ:

- a) Unica Marketing Platform は製品構成の限られたローカライズのみをサポートします

## 最小システム要件

最小システム要件は、非実稼働環境での HCL Unica 製品のデプロイメントのためのハードウェア見積りのガイダンスとして提供されています。パフォーマンス要件やデータ量が多い実動デプロイメントでは、適切な構成を見積もるために詳細なサイズ設定が必要です。この文書に記載されている各 HCL Unica 製品の最小システム要件は、通常、Windows ベースのシステム用です。同等のハードウェア構成が、サポートされるUNIX ベースおよび LINUX ベースのシステムにも必要です。

## すべてのHCL Unica 製品

インフラストラクチャー要素				
ハードウェア構成	ブラウザー・クライアント	Web アプリケーション・サーバー	Campaign 分析 (リスナー) サーバー	システム・テーブル・データベース・サーバー
プロセッサ	2 GHz	2 GHz、2 CPU	2 GHz、2 CPU	2 GHz、2 CPU
RAM	512 MB	CPU あたり 2 GB	CPU あたり 2 GB	CPU あたり 2 GB
ディスク・スペース	N/A	1 GB	100 GB	100 GB

## サポートされる環境

このセクションでは、HCL Unica 製品スイートをデプロイする場合にサポートされるソフトウェア・コンポーネントの概要を説明します。

### ソフトウェア・サポート・マトリックス

アプリケーション・サーバー <sup>(a)</sup> (組み込み Web サーバーあり)	オペレーティング・システム <sup>(e)</sup>	システム・テーブル・データベース <sup>(c)</sup>	キャンペーン ユーザー・テーブル・ データベース <sup>(c, f)</sup>
<ul style="list-style-type: none"> <li>WebLogic <sup>(b)</sup> 12c <b>(12.2.1.3)</b></li> <li>WebSphere <sup>(d)</sup> 8.5.5 <b>FP16</b></li> <li>Tomcat v<b>9.0.30</b> <sup>(r)</sup></li> <li>JBOSS <b>7.1.x</b> <sup>(l)</sup></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Windows Server <sup>(h, i)</sup> <b>2016</b>, 2012R2</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>DB2 <sup>(h)</sup> 11.1, <b>11.5</b></li> <li>Oracle 12.1.0.1, 12.1.0.2, 12.2.0.1, <b>19(12.2.0.3)</b> <sup>(p)</sup></li> <li>SQL Server <sup>(e)</sup> 2014, 2016 SP1, <b>2017</b></li> <li><b>MariaDB 10.4.x</b> <sup>(s)</sup></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>DB2 <sup>(h)</sup> 11.1, <b>11.5</b>, DB2 (z/OS) <sup>(m)</sup> 10.1, 11.0</li> <li>Oracle 12.1.0.1, 12.1.0.2, 12.2.0.1, <b>19(12.2.0.3)</b> <sup>(p)</sup></li> <li>SQL Server <sup>(e)</sup> 2014, 2016 SP1, <b>2017</b></li> <li>Netezza NPS <b>7.2.x</b></li> <li>Teradata 15.0, 15.10, 16.10 <sup>(q)</sup>, <b>16.20</b> <sup>(q)</sup></li> <li><b>MariaDB 10.4.x</b> <sup>(s)</sup></li> <li>Amazon Redshift <sup>(n)</sup></li> <li>dashDB <sup>(o)</sup> <b>10.6</b></li> <li>Apache Hive, <b>Impala</b> ベースの Hadoop ビッグデータ <sup>(g)</sup></li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>WebLogic <sup>(b)</sup> 12c <b>(12.2.1.3)</b></li> <li>WebSphere <sup>(d)</sup> 8.5.5 <b>FP16</b></li> <li>Tomcat v<b>9.0.30</b> <sup>(r)</sup></li> <li>JBOSS 7.1.x <sup>(l)</sup></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>AIX 7.2 <b>TL4</b>, 7.1 TL5</li> <li>RHEL <b>7.x</b> <sup>(j)</sup></li> <li>SUSE <b>12 SP3</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>DB2 <sup>(h)</sup> 11.1, <b>11.5</b>,</li> <li>Oracle 12.1.0.1, 12.1.0.2, 12.2.0.1, <b>19(12.2.0.3)</b> <sup>(p)</sup></li> <li><b>MariaDB 10.4.x</b> <sup>(s)</sup></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>DB2 <sup>(h)</sup> 11.1, <b>11.5</b>, DB2 (z/OS) <sup>(m)</sup> 10.1, 11.0</li> <li>Oracle 12.1.0.1, 12.1.0.2, 12.2.0.1, <b>19(12.2.0.3)</b> <sup>(p)</sup></li> <li>Netezza NPS <b>7.2.x</b></li> <li>Teradata 15.0, 15.10, 16.10 <sup>(q)</sup>, <b>16.20</b> <sup>(q)</sup></li> <li><b>MariaDB 10.4.x</b></li> <li>Amazon Redshift <sup>(n)</sup></li> <li>dashDB <sup>(o)</sup> <b>10.6</b></li> <li>Apache Hive, <b>Impala</b> ベースの Hadoop ビッグデータ <sup>(g)</sup></li> <li>HP Vertica 7.1, <b>9.0.1</b> <sup>(k)</sup></li> </ul>

可能な場合は、上記のリストで太字で表示されるソフトウェア・バージョンを使用してください。Unica 12.0 以降、HCL Unica 製品のサービス終了 (EOS) 日付は、最初のリリースから 3 年後です (正式な EOS 日付は EOS の約 1 年前に発表されます)。太字の製品の EOS 日付は、HCL Unica 製品バージョンの EOS 日付以降なので、このリリースのサービス・ライフ全体を通してサポートされます。太字で表示されていない製品を使用する場合は、EOS 日付がこのリリースの EOS より前である可能性があります。

## HCL Unica Director でサポートされるオペレーティング・システムおよびデータベース:

オペレーティング・システム <sup>(e)</sup>	システム・テーブル・データベース <sup>(c)</sup>	Active MQ	Java/JRE バージョン
<ul style="list-style-type: none"> <li>Windows Server <sup>(h, i)</sup> 2016、2012R2</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>DB2 <sup>(h)</sup> 11.1、<b>11.5</b></li> <li>Oracle 12.1.0.1、12.1.0.2、12.2.0.1、<b>19(12.2.0.3)</b> <sup>(p)</sup></li> <li>SQL Server <sup>(e)</sup> 2014、2016 SP1、<b>2017</b></li> </ul>	Apache Active MQ バージョン 5.15.7	Oracle JDK/JRE 1.8
<ul style="list-style-type: none"> <li>AIX 7.2 TL4、7.1 TL5</li> <li>RHEL 7.x <sup>(j)</sup></li> <li>SUSE 12 SP3</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>DB2 <sup>(h)</sup> 11.1、<b>11.5</b></li> <li>Oracle 12.1.0.1、12.1.0.2、12.2.0.1、<b>19(12.2.0.3)</b> <sup>(p)</sup></li> </ul>	Apache Active MQ バージョン 5.15.7	Oracle JDK/JRE 1.8 AIX - IBM JDK/JRE 1.8

可能な場合は、サポートされるソフトウェア・バージョンの最新バージョン (太字で強調表示) を使用してください。太字で表示されている製品は、HCL Unica Director でアクティブにサポートされています。

## HCL Unica Journey でサポートされるオペレーティング・システムおよびデータベース:

オペレーティング・システム	システム・テーブル・データベース <sup>(c)</sup>	Kafka サーバー <sup>(t)</sup>	アプリケーション・サーバー	Java/JRE バージョン
<ul style="list-style-type: none"> <li>Windows Server <sup>(i)</sup> 2016、<b>2012R2</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Oracle 12c、<b>19(12.2.0.3)</b> <sup>(p)</sup></li> </ul>	Kafka サーバー 2.12-2.2.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>Tomcat v9.0.30 <sup>(r)</sup></li> </ul>	Oracle JDK/JRE 1.8
<ul style="list-style-type: none"> <li>RHEL 7.x <sup>(j)</sup></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Oracle 12c、<b>19(12.2.0.3)</b> <sup>(p)</sup></li> </ul>	Kafka サーバー 2.12-2.2.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>Tomcat v9.0.30 <sup>(r)</sup></li> </ul>	Oracle JDK/JRE 1.8

可能な場合は、サポートされるソフトウェア・バージョンの最新バージョン (太字で強調表示) を使用してください。太字で表示されている製品は、HCL Unica Journey でアクティブにサポートされています。

## メモ:

- a. アプリケーション・サーバーごとの HCL Unica - JRE/JDK の要件を以下に示します。
  - Oracle WebLogic Application Server は、Oracle/Java JDK 1.8 update 112 が実行している必要があります。その他の JDK はサポートされていません (例えば、JRockit JDK)。
  - JRE/JDK 1.8 は、HCL Unica 11.1 リリースからサポートされています。
- b. Weblogic デプロイメントについては、以下の考慮事項を参照してください。
  - HCL Unica 製品のクラスター化は WebLogic ではサポートされていません。
  - Weblogic での Plan デプロイメントの場合、パッチ番号 26923558 を適用する必要があります。詳細は [https://support.oracle.com/knowledge/Middleware/2331453\\_1.html](https://support.oracle.com/knowledge/Middleware/2331453_1.html) を参照してください。

## c. システムおよびユーザー・データベースのサポート:

- 環境ガイドには、HCL Unica でサポートされるデータベースをインストールする場合のサポートされる環境/システム要件は含まれていません。各データベースのベンダー資料を参照してください。
- Oracle データベースのサポートには、Standard 版と Enterprise 版の両方が含まれます。
- JDBC/ODBC ドライバーは Unica 製品にバンドルされず、一緒に出荷もされません。お客様が調達して構成する必要があります。
- 以下のデータベース・ドライバーがサポートされています。

データベース	サポートされるドライバー
MS SQL Server 2014 SP1、2016 SP1、2017	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バージョン 6.4 (mssql-jdbc-6.4.0.jre8.jar)、</li> <li>• バージョン 7.0 (mssql-jdbc-7.0.0.jre8.jar)</li> </ul>
Oracle 12c リリース (12.1.0.1、12.1.0.2、12.2.0.1) Oracle 19c リリース (12.2.0.3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Oracle 12c ドライバー - 12.x (ojdbc8.jar)</li> <li>• Oracle 19c ドライバー - 19.x (ojdbc8.jar)</li> </ul>
IBM DB2 11.1.x、11.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>• DB2 JDBC type4 ドライバー (db2jcc4.jar)</li> </ul>
MariaDB 10.4.x	<ul style="list-style-type: none"> <li>• JDBC - MariaDB Connector/J は Java 8 バージョン 2.5.2 用です</li> <li>• ODBC - MariaDB ODBC Connector 3.1.0</li> </ul>
Amazon Redshift	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Amazon Redshift ODBC ドライバー (1.4.11.1000 - 64 ビット)</li> <li>• UNIX ODBC ドライバー・マネージャー -2.3.7</li> </ul>

- d. HCL Unica 製品は、WebSphere 8.5.5 FP16 - Base、Express、および Network Deployment (ND) 64 ビット版で認定されています。WebSphere の場合、HCL Unica 製品のクラスター化サポートは、WebSphere Network Deployment (ND) 64 ビット版でのみ認定されています。HCL Unica 製品のクラスター化サポートは、Tomcat および JBOSS でも認定されています。
- e. SQL Server データベースのサポートは、64 ビット・バージョンのオペレーティング・システムでのインストールに対してのみです。SQL Server 2012 および 2014 は Service Pack 1 以上でサポートされています。
- f. この列は、Unica Campaign 製品ファミリーに適用されます。Unica Interact は、顧客プロフィール・テーブルに対して、Netezza、Teradata、Amazon Redshift、dashDB、HP Vertica、Databezzas または Hadoop をサポートしません。Unica Interact 製品を使用する場合、Campaign データベースと Interact データベースは同じタイプである必要があります。例えば、Campaign システム・テーブルが Oracle にある場合は、すべての Interact データベースも Oracle にある必要があります。
- g. ビッグデータ・プラットフォームでの Unica Campaign ユーザー・データ・ソースのサポート:
- Hive ベースの Hadoop ビッグデータ・ユーザー・データ・ソースは、RHEL オペレーティング・システムでのみサポートされます。
  - Hive バージョン 0.14 以上で実行される Hadoop ビッグデータ・インスタンスは、以下のベンダーでサポートされています。
    - IBM BigInsights
    - Cloudera CDH
    - MapR
    - Apache HortonWorks

- Hive ベースの Hadoop ビッグデータ・インスタンスへの接続は、選択タイプのドライバーを使用してサポートされます。ドライバーはベンダーから直接調達する必要があります。以下のドライバーがサポートされています。
  - a. Cloudera CDH 用 Cloudera Hive ODBC ドライバー・バージョン 2.5.16
  - b. Hadoop 用 HortonWorks Hive ODBC ドライバー (Hadoop バージョンと互換性のあるドライバー・バージョン)
  - c. Progress DataDirect Connect64(R) for ODBC リリース 7.1.5 (その他のサポートされるビッグデータ・ベンダー用)
  - d. AIX オペレーティング・システムでの Progress DataDirect Connect64(R)、ODBC リリース 7.1.5 バージョン (Hive に基づく HortonWorks ビッグデータ用)
  - e. Cloudera Impala ODBC ドライバー 2.5.41 以上 (Impala に基づく Cloudera ビッグデータ用)
- リストされたドライバーは Unica Campaign にバンドルされず、一緒に出荷もされません。お客様が調達/ダウンロードして構成する必要があります。
- Unica Campaign は Hive/Impala ベースの Bigdata ユーザー・データ・ソースで「TextFile」形式のみをサポートします。
- Kerberos 認証は、Hive/Impala ベースの Cloudera ビッグデータ・プラットフォーム上の Unica Campaign データ・ソースでサポートされ、RHEL オペレーティング・システムで Campaign 分析サーバー (リスナー) を実行する必要があります。詳しくは、Unica Campaign のインストール・ガイドを参照してください。
- h. Unica Campaign は Windows 上の DB2 用に 64 ビット・ドライバーが必要です。IBM DB2 11.1、11.5 は、システム・テーブルおよび BLU がオフになっている Campaign ユーザー・テーブルでのみサポートされます。
- i. Windows Server x86-64 は、2012R2、2016 の Standard および Datacenter Edition でサポートされています。
- j. HCL Unica バージョン 12.1 は、RHEL 7.x のすべてのバージョンをサポートしています。HCL Unica は、IBM Power システムで実行される RHEL をサポートしていません。
- k. Unica Campaign は HP Vertica をサポートしていますが、以下の注意点があります。
  - HP Vertica は、RHEL オペレーティング・システムでのみサポートされます。
  - ユーザーは、データベース・バージョンと同じバージョンの HP Vertica クライアントをインストールする必要があります。
- l. JBOSS アプリケーション・サーバー・バージョン 7.1.0 はサポートされていますが、以下の注意点があります。
  - JBOSS EAP 7.1.x は、Windows および RHEL オペレーティング・システムでのみサポートされます。  
([https://access.redhat.com/articles/2026253#EAP\\_71](https://access.redhat.com/articles/2026253#EAP_71))
  - Windows および RHEL オペレーティング・システム上で稼働する JBOSS アプリケーション・サーバーには Oracle JDK/JRE v1.8 が必要です。
- m. z/OS での IBM DB2 はユーザー・データ・ソースとしてのみサポートされますが、以下の注意点があります。
  - RSU1205 および PUT1205 を備えた DB2 10.1 z/OS および 11.0 z/OS は、「新機能」モードでのみサポートされます。
  - z/OS 上のローダー向けの出来合いの方法はありません。手動で、以下の手順に従うことができます。
    - i. USS パイプを z/OS にセットアップします。
    - ii. DSNUTILU を起動するストアード・プロシージャと、そのストアード・プロシージャを起動するスクリプトを作成します。
    - iii. スクリプトを呼び出すローダーを構成します。

- 一時テーブルを利用する場合は、データベースのデータ・ソース・プロパティでパラメーター「DB2NotLoggedInitially」を「FALSE」に設定する必要があります。
- n. Unica Campaign では、Amazon Redshift ユーザー・データベース用の組み込みのデータベース・ローダー機能は提供されません。
- o. IBM dashDB for Analytics は現在、IBM DB2 Warehouse on Cloud と呼ばれています。
- p. Oracle データベース・バージョン 12.2.x および 19c はサポートされていますが、以下の注意点があります。
- Oracle データベース・サーバーで、ORACLE\_HOME/network/admin/ にある「sqlnet.ora」ファイルに次のパラメーターを追加する必要があります:  
SQLNET.ALLOWED\_LOGON\_VERSION\_SERVER
  - このパラメーターに適切な値を構成するには、DBA に相談してください。詳細については、次のリンクを参照してください。<https://docs.oracle.com/database/121/NETRF/sqlnet.htm#NETRF2016>
- q. Teradata Database バージョン 16.10 および 16.20 は、Unica Campaign ユーザー・データ・ソースでサポートされていますが、以下の注意点があります。
- Linux 環境または AIX 環境にデプロイされた Unica Campaign 分析サーバーの場合、クライアントと Teradata のデータベース・バージョンは同じにする必要があります。
- r. Tomcat Application Server 9.0.30 はサポートされていますが、以下の注意点があります。
- Unica Journey - Web アプリケーション・デプロイメントは Tomcat でのみサポートされます。
  - RHEL および SUSE オペレーティング・システムでのデプロイメントには、Windows 上の Oracle JDK/JRE v1.8 が必要です。
  - AIX 上のデプロイメントには、IBM JDK/JRE v1.8 が必要です。
- s. Unica Deliver は、MariaDB ではサポートされません。MariaDB は AIX オペレーティング・システム上のシステム・テーブルまたはユーザー・テーブルとしてサポートされていません。
- t. Unica Journey インストーラーは Kafka サーバー 2.12-2.2.1 を配置します。Unica Journey にバンドルされている Kafka インスタンスのインストールは、Windows オペレーティング・システムではサポートされていません。ユーザーは、Kafka を Linux オペレーティング・システムにインストールおよび構成する必要があります。
- u. OneDB データベースのインストールと OneDB クライアント SDK のインストールでは、次のオペレーティング システムのバージョンがサポートされています
- Linux OS バージョン: カーネル: 3.10.0 が必要です。
  - AIX OS バージョン: オペレーティング システム バージョン: 7.2 が必要、OS バージョン、パッチ: 7200-02 が必要。
  - Unica Collaborate は、システムおよびユーザー データベースとして OneDB をまだサポートしていません。
  - Unica Journey v12.1.0.3 (FP3) 以降は、システム データベースとして OneDB をサポートします。
- v. RHEL8 のサポートは、12.1 FP4 以降で利用できます。
- w. Unica Campaign は、バージョン 12.1.0.4 以降のユーザー データベースとして、Actian ベクター v5.1.0 データベースをサポートします。
- x. Unica 製品 (Journey を含む) は、12.1.0.4 (FP4) 以降の JBOSS 7.2 をサポートします。
- y. Unica Campaign v12.1.0.4 (FP4) 以降は、ユーザー データベースとして Google BigQuery をサポートします。

## クライアント Web ブラウザーのサポート

ブラウザ <sup>(a, c)</sup>	オペレーティング・システム
Internet Explorer 11 (32 ビットおよび 64 ビット)	Windows 7 SP1、Windows 8 SP1、Windows 10
Safari <sup>(b)</sup> 13.1.1 以上	Mac OS Sierra 10.15.5
Google Chrome for Business edition 83 以上 (32 ビットおよび 64 ビット)。	Windows 7 SP1、Windows 8 SP1、Windows 10

## Adobe Acrobat のサポート

Unica Plan で Adobe Acrobat マークアップ機能を使用する注釈は、以下のブラウザーでのみサポートされます。

ブラウザー <sup>(a)</sup>	オペレーティング・システム	Adobe Acrobat
Internet Explorer 11 (32 ビットおよび 64 ビット)	Windows 7 SP1、Windows 8 SP1、Windows 10	Adobe Acrobat Pro DC (17)
Safari <sup>(b)</sup> 11.0.3 以上	Mac OS Sierra 10.13.3	Adobe Acrobat Pro DC(17)

### メモ:

- ユーザー・エクスペリエンスを向上するには、画面解像度を 1600 x 900 に設定し、「表示設定」>「スケールとレイアウト」の「テキスト、アプリ、その他のアイテムのサイズ」を 100% に設定します。それより下の解像度では、一部の情報が正常に表示されない場合があります。低い解像度を使用する場合、ブラウザー・ウィンドウを最大化してより多くのコンテンツが表示されるようにしてください。
- iOS 上の Safari はサポートされていません。
- Chrome は、Unica Marketing Platform、Unica Campaign、Unica Optimize、Unica Interact、Unica Plan、Unica Deliver、Unica Journey でサポートされています。

HCL は、ベンダーから正式にリリースされたバージョンの Web ブラウザーについてのみ、サポートを認証できます。このような状況では、Web ブラウザーがリリースされるタイミングと HCL がサポートを認証できるタイミングの間に待ち時間が生じる場合があります。HCL は、正式にリリースされたブラウザー・バージョンを最初から次の使用可能なサービス・リリース・サイクル (通常は、現在のリリースの累積修正、フィックス・パック、またはリフレッシュパックで提供される) を通じて認証することを最善の努力で行います。認証に複数の修正や重要なコードの更新が伴う可能性がある場合、正式な認証は Unica の次のメジャー/マイナー・リリースに延期されます。

## ディレクトリー・サーバーのサポート

ディレクトリー・サーバー	ホスト・オペレーティング・システム
Microsoft Active Directory <sup>(a)</sup> 2012、2012R2	Windows
Oracle(Sun) ONE Directory Server Enterprise Edition 11gR2	すべての O/S
IBM Security Directory Server (旧称 Tivoli Directory Server) 6.4.0.8	すべての O/S

### メモ:

- Windows 統合ログインは、IIS デプロイメントを介して Windows システムにインストールされた HCL Unica 製品でのみ使用できます。詳しくは、次の記事を参照してください。

[https://www.ibm.com/developerworks/community/wikis/home?lang=en#!/wiki/W3a9d2a3c495a\\_47b6\\_97a9\\_e2b8\\_f68b2e88/page/NLTMv2%20authentication%20with%20IBM%20Unica%20Marketing%20Platform](https://www.ibm.com/developerworks/community/wikis/home?lang=en#!/wiki/W3a9d2a3c495a_47b6_97a9_e2b8_f68b2e88/page/NLTMv2%20authentication%20with%20IBM%20Unica%20Marketing%20Platform)

## 認証プロバイダーのサポート

認証プロバイダー	ホスト・オペレーティング・システム
Windows Active Directory Server 2012、2012R2	Windows
CA シングル・サインオン (旧称 Siteminder) <sup>(b)</sup> 12.5	すべての O/S
IBM Security Access Manager (旧称 Tivoli Access Manager for eBusiness) <sup>(a)(b)</sup> 9.0.4、8.0.1.3	すべての O/S
SAML 2.0 標準に基づくフェデレーテッド・シングル・サインオン <sup>(c)</sup>	すべての O/S

### メモ:

- IBM Security Access Manager (旧称 Tivoli Access Manager for eBusiness) v8.0.1.3 は、認証プロバイダーとして HCL Unica と互換性があります。
- Unica Centralized Offer Management、Interact、および Plan は、GET、PUT、POST、PATCH、DELETE などの HTTP メソッドを使用します。デフォルトでは、これらの HTTP メソッドは ISAM および Siteminder では有効になっていません。これらの Unica 製品が ISAM および Siteminder と連携するには、これらのメソッドを有効にしてください。
- Unica Journey では、SAML 2.0 に基づくフェデレーテッド・シングル・サインオンはサポートされていません。

## メッセージ・キューのサポート

Interact トリガー・メッセージおよびアクティビティ・オーケストレーターでは、Apache Kafka 2.2.1 以降がサポートされます。Apache Kafka がクラスターにデプロイされている場合、Apache ZooKeeper 3.5.5 以降がサポートされます。

## レポート・サーバーのサポート

製品	レポート作成ツール	サポートされるシステム・テーブル
Unica Campaign、Unica Interact、Unica Plan、Unica Centralized Offer、Unica Deliver	IBM Cognos Analytics 11.0.9 <sup>(a)</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>DB2 11.1、11.5</li> <li>Oracle 12.1.0.1、12.1.0.2、12.2.0.1、19(12.2.0.3)</li> <li>SQL Server 2014、2016 SP1、2017</li> </ul>
Unica Campaign、Unica Interact、Unica Plan、Unica Centralized Offer 管理	BIRT 4.8.0 <sup>(c)</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>DB2 11.1、11.5</li> <li>Oracle 12.1.0.1、12.1.0.2、12.2.0.1、19(12.2.0.3)</li> <li>SQL Server 2014、2016 SP1、2017</li> <li>MariaDB 10.4.x <sup>(b)</sup></li> </ul>

**メモ:**

- a. IBM Cognos Analytics 11.0.9 はサポートされていますが、以下の注意点があります
  - IBM Cognos Analytics 11.0.9 サーバーでは、Oracle データベース・サーバー (32 ビットまたは 64 ビット) に接続するために 32 ビットの Oracle クライアント・ライブラリーが必要です。
  - IBM Cognos Analytics 11.0.9 サーバーでは、DB2 データベース・サーバー (32 ビットまたは 64 ビット) に接続するために 32 ビットの DB2 クライアント・ライブラリーが必要です。
  - IBM Cognos Analytics 11.0.9 サーバーでは、SQL Server データベース・サーバー (32 ビットまたは 64 ビット) に接続するために、32 ビットの SQL Server クライアント・ライブラリーが必要です。
  - 別個のレポート・サーバーが必要で、最小システム要件については、「IBM Cognos Analytics 11.0.9 インストールおよび設定ガイド」を参照してください。また、IBM Cognos Analytics では、Web サーバーも必要です。IBM Cognos Analytics 11.0.9 の完全な互換性情報については、次を参照してください：  
<http://www-01.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg27047186>
- b. Unica Insights (BIRT に基づくレポート) は、Unica Campaign のみで MariaDB を使用してサポートされるようになりました。スイツ内の他の製品は、MariaDB を使用した Insight レポートをサポートしません。
- c. Unica Insights (BIRT に基づくレポート) は、現在英語ロケールでのみサポートされています。

## 仮想化ソフトウェアのサポート

HCL Unica のすべてのリリースで、HCL Unica 製品は、このガイドにリストされている特定のオペレーティング・システム・セットについて認定されています。また、HCL Unica は、顧客環境におけるハードウェア仮想マシン・ソフトウェアおよび OS レベルの仮想化ソフトウェア (VMWare、Microsoft Virtual Server、Solaris コンテナなど) の存在感が高まっていることを認識しています。以下のセクションでは、同様のサポート・ポリシーの概要を示します。

### 仮想化環境のサポート

HCL は、ご使用の環境で仮想マシンを実行しているかどうかに関係なく、リストされたオペレーティング・システムで製品を実行するお客様をサポートします。HCL は、仮想マシン内での実行中に発生する製品固有の問題をサポートします。ただし、HCL は、仮想マシン内の HCL 製品のテストを厳密に行うわけではありません。その結果、仮想マシンは互換性のある環境としてサポートされます。

仮想化ソフトウェア・ベンダーは、認定オペレーティング・システムとハードウェアのセットをサポートしています。仮想化ソフトウェアを使用した結果、ハードウェアまたはオペレーティング・システム層で発生する相互作用や問題については、お客様および仮想マシンのベンダーが責任を負います。

### パフォーマンス

仮想マシンを使用すると、ソフトウェアのオーバーヘッドが増加し、パフォーマンスやスケーラビリティに影響を与える可能性があります。ハードウェア・プラットフォーム上で予期される製品のパフォーマンスに関するステートメントは、同じハードウェア・プラットフォーム上で稼働する仮想マシンに適用するように解釈することはできません。

### 問題のトラブルシューティング

HCL テクニカル・サポートは、お客様からの仮想イメージをトラブルシューティング・ツールとして受け入れることはできません。これらのイメージに含まれる可能性がある、サード・パーティー製ソフトウェア製品に関するライセンス上の懸念があるからです。

仮想マシン内で製品を使用する HCL のお客様に問題が発生した場合、HCL のお客様は、非仮想化環境内のすべての問題を再作成およびトラブルシューティングする必要はありません。ただし、HCL は、仮想イメージを使用せずに、サポートされるオペレーティング・システム環境で特定の問題を診断することをお客様に要求する権利を持ちます。この要求は、仮想環境が問題の原因と考える理由がある場合にのみ行います。

## サポートされる環境の改訂

このセクションでは、このバージョンの HCL Unica 製品でサポートされるソフトウェアの変更点の概要を説明します。

### 新しくサポートされるソフトウェアのバージョン

HCL Unica バージョン 12.1 では、以下の新規バージョンのサード・パーティー・ソフトウェアのサポートが追加されました。

サポートするソフトウェア・エンティティ	サポートするソフトウェアのバージョン
オペレーティング・システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>AIX 7.2 TL4、7.1 TL5</li> </ul>
アプリケーション・サーバー	<ul style="list-style-type: none"> <li>Tomcat 9.0.30</li> <li>WebSphere 8.5.5 FP16</li> </ul>
データベースおよびドライバー	<ul style="list-style-type: none"> <li>DB2 11.5</li> <li>Oracle 19 (12.2.0.3)</li> <li>MariaDB 10.4.x</li> </ul>
Campaign ユーザー・データベースとドライバー	<ul style="list-style-type: none"> <li>DB2 11.5</li> <li>Oracle 19 (12.2.0.3)</li> <li>MariaDB 10.4.x</li> </ul>

### 廃止されたサポート・ソフトウェアのバージョン

HCL Unica バージョン 12.1 は、以下のバージョンのサード・パーティー・ソフトウェアのサポートを廃止しました。

サポートするソフトウェア・エンティティ	サポートするソフトウェアのバージョン
オペレーティング・システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>AIX 7.1 TL4、TL3</li> </ul>
データベース	<ul style="list-style-type: none"> <li>システム・テーブルおよびユーザー・テーブル - DB2 10.1.x、10.5.x</li> <li>システム・テーブルおよびユーザー・テーブル - Oracle 11gR2 (11.2.0.4)</li> <li>システム・テーブルおよびユーザー・テーブル - SQL Server 2012</li> <li>ユーザー・テーブル - Netezza 6.0、7.0、7.1</li> <li>ユーザー・テーブル - Teradata 14.10</li> </ul>
Amazon Redshift	PostgreSQL ODBCドライバーを使用したユーザー・データベース・ドライバー接続
Interact でのキャッシュ管理サポート	WebSphere eXtremeScale